

今後の主な取組の方向性について

検討会議でのご意見等について、今後の主な取組の方向性を以下のとおり検討

(1)相談対応の強化

概要

アイヌの人々の生活意識や環境の変化を踏まえ、アイヌの人々の生活しやすい環境を整備するため、生活相談員の活用を含め、相談体制の強化を図ることを検討。

方策関係部分

- 理解の促進 「SNSによる誹謗中傷等への対策」
- 生活の向上 「アイヌの人々の生活意識や環境変化を踏まえ、時代に即した適切な支援」
- 文化の振興 ○地域、産業及び観光の振興 ○多様な文化との交流促進

検討会議等での主なご意見

【検討会議】

- 住宅資金や修学資金の周知等に当たっては、生活相談員を活用いただきたい。まずは、生活相談員に対する研修について、道が中心となって実施いただきたい。(木村構成員)
- 民間の制度を含めてアイヌの方の相談に乗ってくれるような、アイヌの方の相談窓口を整備することが必要。(大野構成員)
- 情報を提供するからこういった制度を活用してくださいということができないところに手を差し伸べるような政策を検討いただきたい。(小川構成員)
- (生活向上施策について)時代に合った制度にしていかなければならぬ。(小川構成員)
- 差別の現状・課題として、SNSによる誹謗中傷が増えている。時代に合わせた情報発信など、色々な取組が必要。(中村構成員)

【地域意見交換会】

- 制度周知が行き渡っていない、わかりやすい制度の周知・相談体制の整備が必要 等

目指す成果

- SNSによる誹謗中傷等の被害を受けた場合の対応方法の普及。
- 住宅資金、修学資金などについて、適切な制度の周知により生活環境を整備するとともに、文化振興につなげること。
- 相談対応によりアイヌの人々の実態を把握することで、状況変化を踏まえた適切な支援の検討につなげること。

今後の主な取組の方向性について

(2)貸付メニューの変更(アイヌ生活向上振興資金)

概要

北海道アイヌ協会が実施する貸付事業について、アイヌ協会と協議の上、貸付メニューの変更を検討。

方策関係部分

- 生活の向上 「アイヌの人々の生活意識や環境変化を踏まえ、時代に即した適切な支援」

検討会議等での主なご意見

【検討会議】

- (生活向上施策について)時代に合った制度にしていかなければならない。お墓を直す 20 万、お風呂を直す 30 万実績ゼロなど。(小川構成員)
- 差別の現状・課題として、SNSによる誹謗中傷が増えている。時代に合わせた情報発信など、色々な取組が必要。(中村構成員)

【地域意見交換会】

- 生活貸付や墓碑の貸付は不要、(修学資金に関して)一人暮らしだと追加でお金がかかる 等

目指す成果

- アイヌの人々の状況を踏まえた適切な支援により生活環境を整備するとともに、文化振興につなげること。

今後の主な取組の方向性について

(3)アイヌ住宅改良促進事業の考え方の周知等

概要

各市町村が実施する貸付事業について、事業の仕組みや抵当権の考え方等の周知、適切な情報の整理や提供等を検討。

方策関係部分

- 生活の向上 「アイヌの人々の生活意識や環境変化を踏まえ、時代に即した適切な支援」

検討会議等での主なご意見

【検討会議】

- 第1抵当権をこの補助に使ってしまったら、今度第2抵当権では銀行ではお金貸してくれない。制度の中身を見直していくかなければならぬのではないか。(木村構成員)
- 民間の制度を含めてアイヌの方の相談に乗ってくれるような、アイヌの方の相談窓口を整備することが必要。(大野構成員)

【地域意見交換会】

- 現在は市中金利が下がっているため、本事業による貸付を利用するメリットがなく、民間の住宅ローンを利用している 等

目指す成果

- 適切な情報の提供・活用による、アイヌの人々の状況に即した適切な支援につなげること。

今後の主な取組の方向性について

(4)ウポポイの活用

概要

ウポポイの活用について、オンライン・リモートでの観覧、アイヌ協会や市町村と連携したアイヌの人々の多様な文化の学習機会の確保のための取組の検討。

方策関係部分

- 理解の促進 ○文化の振興 ○地域、産業及び観光の振興
- 多様な文化との交流促進「ウポポイ等を活用した多様な文化の学習機会の確保」

検討会議等での主なご意見

【検討会議】

- ウポポイや二風谷に近く行きやすいが、遠い小中学校でどういう対応が可能かということも検討すべき。(落合座長)
- 理解の促進には、学ぼうという気持ちを持つことが必要。歴史などを正しく適切に教えてくれる外部の先生や、ウポポイのコンテンツを活用していくなどできるといい。(中村構成員)
- アイヌ文化を経験するというのは全道に広めた方が理解促進につながるのではないか。(結城構成員) 等

目指す成果

- 児童、生徒等の若年層をはじめとしたアイヌに関する理解の促進。
- アイヌの人々における多様な文化の学習機会の確保による相互理解の促進。

今後の主な取組の方向性について

(5)アイヌの歴史や文化を体験できる幅広い機会の提供

概要

多くの人々がアイヌ文化に直接触れる機会の提供、道内のアイヌ関連施設が連携した誘客促進と文化・地域振興のための取組を検討。

方策関係部分

- 理解の促進 ○文化の振興 ○地域、産業及び観光の振興 ○多様な文化との交流促進

検討会議等での主なご意見

【検討会議】

- 観光について道に頑張ってもらいたい。観光は道内各地との連携が大事。(木村構成員)
- 観光機構としては、音楽、工芸、食といったものの実体験も含めて、体験していくという研修会を行っている。体験は興味を惹きつけるものであり重要。(中村構成員)

【地域意見交換会】

- アイヌ関連施設の誘客促進について方策を考えてほしい 等

目指す成果

- アイヌの歴史・文化発信の強化による更なる理解の促進。

今後の主な取組の方向性について

(6) 担い手の育成・自立可能な稼げる産業へ

概要

若い世代がアイヌ工芸等の魅力に触れる機会の確保、多様な人材が身につけた技術で安定的な所得を得られる流れづくりのための取組を検討。

方策関係部分

- 生活の向上 ○文化の振興 ○地域、産業及び観光の振興

検討会議等での主なご意見

【検討会議】

- 文化の振興について、アイヌ文化の伝承者になったところで、生活できないと離れていく、文化の継承につながらない。(荒田構成員)
- 文化の振興が収入に転化しないと文化の振興につながらないため、技術習得の機会や文化を伝承していくような仕組みを作ることが重要。(大野構成員) 等

目指す成果

- 担い手の育成によるアイヌ文化の保存・伝承。